



2023年5月11日

各位

ENEOSホールディングス株式会社

ENEOSグループのカーボンニュートラル基本計画について

当社（社長：齊藤 猛）は、ENEOSグループのカーボンニュートラル基本計画^{※1}（以下、「基本計画」）を策定しましたので、お知らせいたします。

ENEOSグループは、2022年5月に、Scope 1、2の温室効果ガス排出量について2040年度までにネットゼロを実現することを目指すと共に、政府・他企業と歩調を合わせながら、2050年度のカーボンニュートラル社会実現に貢献することなどを掲げるカーボンニュートラル計画^{※2}を公表しました。今般、当社を取り巻く事業環境の変化や、それに対応して策定した第3次中期経営計画を踏まえ、カーボンニュートラルへの取り組みとして新たに基本計画を策定しました。

今回策定した基本計画では、カーボンニュートラル社会の実現に向けて、当社の温室効果ガス排出削減を製造・事業の効率化やCCS、森林吸収等によって進めるとともに、社会の温室効果ガス排出削減に貢献するため、水素・カーボンニュートラル燃料・再生可能エネルギー等の供給による「エネルギートランジション」の推進と、リサイクルやシェアリング等による「サーキュラーエコノミー」の推進を掲げ、具体的な目標やロードマップを定めることにより、カーボンニュートラル社会の実現に向けた取り組みを加速します。

当社は、今後もさまざまな取り組みを通じて「エネルギー・素材の安定供給」と「カーボンニュートラル社会の実現」との両立に向けて挑戦します。

※1 [ENEOSグループ カーボンニュートラル基本計画](#)

※2 2022年5月13日公表：[ENEOSグループのカーボンニュートラル計画について](#)

【ENEOSグループのカーボンニュートラル基本計画】

ENEOSグループ
長期ビジョン

ENEOSグループは「エネルギー・素材の安定供給」と
「カーボンニュートラル社会の実現」との両立に向けて挑戦します。

カーボンニュートラルを
取り巻く当社事業領域

日本の一次エネルギーにおける当社寄与率：約15%（原油・ガスの取扱量換算※）
当社の温室効果ガス排出量(Scope1+2+3)：約2.1億^t/年（日本の温室効果ガス排出量：約12億^t/年）

※経済産業省公表値をもとに当社試算

ENEOSグループのカーボンニュートラル指針

カーボンニュートラル社会の実現に向けて、
当社の温室効果ガス排出削減を進めるとともに、社会の温室効果ガス排出削減に貢献するため、
「エネルギートランジション」と「サーキュラーエコノミー」を推進します。

当社の温室効果ガス排出削減

将来の炭素価格上昇に対する備え

- 2040年度に向けて、当社排出分^{*}のカーボンニュートラル実現を目指す。
※ Scope1+2が対象
- 2030年度に向けて、温室効果ガス46%の削減^{*}を目指す。
※ 2013年度対比
- カーボンニュートラル実現に向け、当社の温室効果ガス排出抑制、CCS(CO₂の回収・貯留)、CO₂除去(森林吸収等)に広く取り組む。

+

社会の温室効果ガス排出削減への貢献

カーボンニュートラルを将来の事業の柱に

- 政府や他企業と歩調を合わせて取り組み、2050年度に向けてScope3を含め、カーボンニュートラル実現を目指す。
- エネルギー分野では、再エネ拡大、水素・カーボンニュートラル燃料等の早期実用化を通じてエネルギートランジションを推進し、2040年度を目途にエネルギー供給あたりのCO₂排出量(CI^{*})の半減を目指す。
- 素材・サービス分野では、素材原料転換等によるサーキュラーエコノミーの推進、削減貢献量の拡大に取り組む。

※Carbon Intensity (炭素強度)

以 上